

yamaguchi
Fujinkai
ふじんかい

山口県連合婦人会 会報

2022.3

Vol. 67

発行／山口県連合婦人会

山口市湯田温泉5丁目1番1号
カリエンテ山口内

(山口県婦人教育文化会館)

Tel 083-925-7345 Fax 083-928-7346

e-mail: yamakenfu@ray.ocn.ne.jp

<http://www.y-caliente.jp/fujinkai/index.html>



平和祈念像 長崎市



龍踊り

特集 長引くコロナ禍の婦人会活動 P3~6

あいさつ P2

フィルムレポート P7~8

ごあいさつ



山口県連合婦人会

会長 藤家幸子

年明けから新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、出口の見えない生活が続きます。会員の皆様におかれましては、しっかり対策を取られ、規制のある窮屈な生活だと存じます。

昨年、和木町で開催された「地域婦人会リーダー相互研修会」に参加された皆様から、「時宜に叶った内容で大変素晴らしい活動だった」と賛同のお声を多くいただきました。改めて、開催地の会長様や関係者の方々へ感謝申し上げます。お疲れさまでした。

コロナ禍にあっても、全地婦連や県連婦事業は、徹底した対策を講じて丁寧に活動してきました。防災学習ではアレルギーっ子への炊出し訓練等、新しい分野の活動も実施できました。結核予防や交通安全の研修、食品表示セミナーではオンラインによる参加も経験いたしました。

さて、今回の広報誌には、コロナ禍で大役を委ねられた全地婦連会長の櫻井よう子様には山口県連婦へすてきなエールをいただきました。常

に婦人会の繋がりによる団結力の強さを全国各地へ発信しておられます。

コロナ禍でもできることを指標に、婦人会としての存在感をアピールして活動しましょう。

人生を楽しく生きるには
婦人会を活用しながら

全国地域婦人団体

連絡協議会

会長 櫻井よう子様

この度は山口県連合婦人会広報誌寄稿の機会をいただき、誠にありがとうございます。

日ごろは、当全地婦連へのご理解とご支援・ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、私が全地婦連会長に就任してから一年半近くになりますが、この間は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、皆様にお目にかかる機会も限られておりましたことを残念に思っていたところです。しかしながら、ワクチンの接種に加えて経口薬も開発されていることから、予防の継続は必須ではありますが、社会や経済活動も展開されておりますので、私も各団体へ出かけることが徐々にできるようになっております。

さて、タイトルに掲げさせていただきました「人生を楽しく生きるには」婦人会を活用しながらは、皆様にお目にかかり、話をさせて

いただきます時に、用いているものです。私は二十代のときから婦人会に関わり、誰よりも婦人会を大切に思っていました。当時から婦人会の課題は山積しておりましたが、自分の大切な時間を使うのであれば、先ず悔いのない時間の使い方をしたいと強く思っております。

人は人生に楽しみを求め、楽しいことには人が集まります。婦人会もそうでありたいと考えました。社会貢献は気高いものですが、それだけでは長く続きません。そこで先ず、人のお金（補助金）に頼るのではなく、資金を自ら稼ぐ力をつけたいと思いました。補助金に頼っているのは、減額や削減に伴い、活動が停滞してしまいます。では何をすべきか。それぞれの地域には、人の資源と共に地域の資源がありますので、それを活かすことです。ここに行政の関わりがあると力になります（例として茨城県八千代町、地元の白菜を使ったキムチづくり）。会員が生き生きと活動しながら会としての資金を得ることを選択肢として提示します。

あるいは会員以外に事業を開くこと、一般の人を多く引き付ける事業を企画することです。人口減少時代、会の活性化には会員以外の人たちから理解と共感を得て、賛同者を増やしていくことが必須です。新しい試みには当然賛否両論が起き、実行していくためには今までの何倍ものエネルギーが求められます。変わるか、変わるかは、皆様のやり方次第です。

貴山口県連合婦人会が今後一層輝きますことを願いまして、私からのエールとさせていただきます。

特集

長引くコロナ禍の婦人会活動
山口県連合婦人会主催事業

ようこそ和木町へ

地域婦人会リーダー相互研修会

和木町婦人会 藤本亮恵

長引くコロナ禍の中、婦人会パワーが炸裂、新型コロナウイルスを吹き飛ばし、延期になっていた研修会を十一月二十五日に県内各地から和木町文化会館に二百五十名の会員をお迎えし、開催しました。

講演会では、山田医師による今一番切実な問題である新型コロナウイルスについてのお話でした。テレビ等報道でよく耳にする事を分かりやすい言葉でお話しくださり、私たちが普段の生活で気をつける事など改めて理解できました。

次の「音と暮らしのアートサウンド」では、サククスとピアノの生演奏を、暫しうつとり聴き入りました。

後半は、気持ちいいピアノ演奏に合わせて、その場でストレッチし、贅沢なひとときを過ごしました。ストレス発散、身も心もスッキリ、リフレッシュできました。

最後に、和木町で開催出来ましたことに感謝し、また全ての関係者の方々のご協力に感謝申し上げます。



全国地域婦人団体研究大会

山陽小野田市連合女性会

伊藤久美子

令和三年十一月一日、二日の二日間にわたり、長崎ブリックホールで第六九回全国地域婦人団体研究大会が開催されました。

長崎駅では新幹線の開通工事でごった返している中、会場へ向かいました。

新型コロナウイルス感染防止のため、一年延期されて開催された会場は、密を避けて参加した七百人が会場を埋めました。

一日目はワールドワークに参加し、浦上天主堂、グラバー園を見学して長崎の歴史を学びました。

二日目はオープ

ニングセレモニーの龍踊りと開会行事の後、記念講演「変わってしまった女と変わりたくない男」の講演がありました。

最後に「次世代につなぐ持続可能な女性会・婦人会づくり」のスローガンのもと平和で豊かな社会づくりに努めることを確認して帰路につきました。



中国ブロック会議に参加して

下松市連合婦人会 古田尊子



十月七日、岡山県岡山市のピュアリティまきびで、全地婦連中国ブロック会議が開催されました。

櫻井よう子全地婦連会長の力強い言葉で開会し、その後、「ITは男性の手も女性の手も選ばない」と題しての現青森大学名誉教授見城美枝子氏の講演を拝聴しました。

一九六〇年からアメリカでアフーマティブ・アクションが起こり、日本でも女性対象に積極的格差是正措置が始まったが、まだジェンダーギャップ指数は先進七か国では最下位。原因は固定的役割分担意識が根強く、子育てが女性の担当とされ、キャリアの道が制限されていること、男女間の同一職種の割合が少ないなどです。

IT社会は男女平等に力を発揮できる分野であると言われますが、現実の社会では性差があります。

最近はずしも女性だけが弱者ではないの一言が印象に。誰にとっても住みよい社会はきつと来ると信じて、活動を新たにしたいと思います。

域婦人会の活動

新型コロナウイルス感染防止の観点から、様々な制約の中、私たち山口県連合婦人会は地域で、皆で知恵をしぼり、新しい活動の在り方を模索してまいりました。便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日常が取り戻せより願っています。



岩国市 文化祭

岩国支部はコロナ感染に考えられる多くのことに配慮し、11月17日に



文化祭を、毎年なら一日昼食を挟み買い物等して楽しむのですが、今年は午後の開催とし、お弁当を終了後配ることにしました。

講話は「ゴミ分別について」環境事業課より聞き分別の大切さを学びました。アトラクションに「三味線民謡弾き唄い」藤本喜裕也さんのパワフルな演奏を楽しみ、次に会員によるコーラス、詩舞、民謡踊、フラダンス、寸劇など練習の成果を披露しました。

例年複十字シール募金は、会場を回るのが、今年は箱を置きました。公民館建替の為ちふれ化粧品販売は今回をもって終了とすることにしました。

大島郡 お弁当づくりがんばりました

『自粛生活を乗り切ろう』コロナに負けず元気に生活するために、『食は命』。

小松婦人会は、社協と協賛して、80歳以上の一人暮らしの方々に、今年2回、7月144食、11月146食、お弁当にして届けました。



美味しく満足感が得られ、目でも食べていただきた、季節感もしっかり味わっていただけた素敵なお弁当が出来上がりました。もらった方の感想は、とても美味しい。品数も沢山入っていて毎月でもいただきたいとのこと。うれしいやら、大変やら。

柳井市 コロナで外出制限された高齢者を訪ねて

人との出会いが少ない75歳以上の独居・高齢世帯に、敬老会の中止もあり、10月に会員手作りのきんちゃく袋にお手紙・折り紙箱等の作品を入れたお土産を持参し、声掛け訪問を実施しました。



反省会では、高齢者に会い、笑顔が出て話が盛り上がり、お土産も喜ばれたと報告がありました。

地域の方々にも婦人会活動が具体的に見えたようで、有意義な活動が出来たと思います。

玖珂郡 ようこそ和木町へ

6月から延期になっていましたリーダー研修会を、11月25日に県内各地より多くの会員をお迎えして開催が出来たことは、感謝でいっぱいです。

昨年からコツコツとボランティア団体エコクラフトの方々と一緒に、古着物のリメイクでミニアームカバーをつくりました。喜んでいただけましたか？本来なら一日の研修で工場見学等、和木町の魅力を満喫していただきたかったのですが。次の開催（十何年後か）まで楽しみにしてください。



下松市 人権研修&音楽会

中国を端に発した新型コロナウイルスは2年経った今も変異をとげ、日常生活は否応無しに変化しました。下松市連合婦人会は県下で随一体



育祭を行っていましたが中止し、今年は自粛がとけた12月に、会員の絆を保つことを目的にウインターコンサートを開催しました。広い会場で密をさけ、マスクの着用の参加で、120人の会員が一時を共にしました。互いに集い会えた喜びが会場の雰囲気からひしひしと伝わり、みんな満足して家路に着いた半日でした。

阿武郡 美しいフラワーアレンジメントで新春を！

福賀婦人会では、コロナ禍でも元気に新春を迎えるために、12月19日に阿武町のうそんセンター多目的ホールに於いて、23人の参加のもとフラワーアレンジメント教室を開催しました。

生花店に材料の生花と講師をお願いし、自分の準備した花器に、オアシスを入れて盛り沢山の生花と水引や飾りをつけて、自分なりに工夫を凝らして世界で唯一の活花が出来上がりました。



あかるい方へ みんなの笑顔

各地

新型コロナ
それぞれの
何かと不
ることを心

山陽小野田市 みんなが集う機会を 続ける活動

視野を広げ見識を深める講座「市連女リーダーセミナー」を7月30日に開催しました。鷺流狂言保存会の皆様による伝統芸能「鬼瓦」と「棒縛り」を鑑賞しました。これからも保存会の方により、民間伝承されることを願うのみです。

11月14日に実施した「生涯学習フェスタ」は、食バザーを止め、時間短縮をし、ステージと作品による発表のみとしました。日頃の成果が発表でき、有意義な会でした。



周南市 「ありがとう 公民館」を開催

社会教育団体である婦人会は、永く公民館とともに歩んできました。

再配置で、旧鹿野公民館が来春から解体されることを受け、感謝の気持ちを伝えたく「ありがとう 公民館」を企画しました。実行委員会を立ち上げ諸調整。婦人会で会場の掃除をして11月14日を迎えました。

もったいないバザー、古民具譲渡会が喜ばれ、会員のお孫さんも出演した地域の劇団「わ」による『がんばろうよ 鹿野の里』の舞台は新聞テレビ等でも伝えられました。コロナ禍無事に終えて安堵しています。

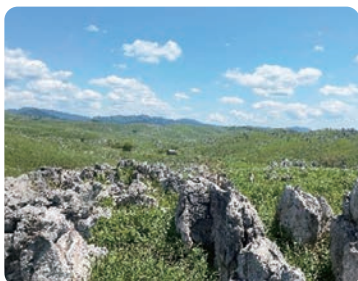


美祢市 秋吉台を美しくする運動！

美祢市では、コロナ禍ではありましたが、8月1日に「秋吉台を美しくする運動」と称して、秋吉台科学博物館に集合し、秋吉台の講話を1時間、その後、3か所に分かれて清掃活動を行いました。

今年は人数を制限して、35名の参加で実施しました。

この活動は今年で60回を迎え、私たちが引き継いで毎年続けている活動の1つです。



山口市 母のつどい大会 兼 福祉教育に関する講演会

新山口駅北口に令和3年春オープンした山口市産業交流施設「KDDI 維新ホール」で令和3年11月22日に開催しました。

「住み慣れた地域でいきるために！」と題しての講演は、健康で安心安全に「生きる」、楽しんで人の役に立つ「活きる」、誰かの介護の手が必要、事前の準備をして「逝きる」をいう話でした。

地域での活動と繋がりを大切にしたいと思いました。



萩市 つながろう心一つに笑顔の集い



萩市連合婦人会は、市町村合併に伴い設立15周年の節目を迎え、記念事業に記念誌発行と「地域女性のミニオリンピック」を計画しました。

しかし、コロナ禍となり記念誌は何とか発行。オリ・パラオリンピックの1年延期にあやかり年を越しての開催は、テーマの変更から内容の決定まで市婦連理事の知恵とやる気で開催いたしました。

80kgの紅白祝餅が全ての来場者と日頃お世話になっている行政の皆様へもお礼を込めてお渡しできました。実施できて本当に良かったです！

宇部市 社会教育学級の開催

コロナ禍になり公共施設の利用制限があり、計画どおり開催が出来なくなった社会教育学級ですが、それでも目の前の感染状況を見て、バス旅行・足腰元気体操・セミナー等随時開催してきました。

中でも好評だったのがタイルアートでした。タイルを並べて自分好みの作品を作り上げました。久しぶりのふれあいの時間でした。



コロナ禍の活動 県連事業

パート
2

全地婦連委託事業

食品表示セミナー

宇部市婦人会協議会 藤井恵子

宇部市では新型コロナウイルス感染症の広がりが少し落ち着いていた十月八日、「新たな加工食品の原料原産地表示制度」と「添加物表示制度」と題して、食品表示セミナーを開催しました。

昨年度、コロナ禍で断念しましたが、今年度は開催することができました。

宇部市の公共施設にはオンラインでセミナーが開催できる設備が整いましたので、婦人会としては初めての試みとして、消費者庁食品表示調査官の横内達哉様とオンラインで繋いでのセミナーでした。対面とは違い、なかなかタイミング的に質問しづらいシーンもありましたが、特に問題もなく終了いたしました。



全地婦連防災学習会二会場で実施

「防災学習会」でつながりを！

萩市江崎婦人会 嶋田恵子



十二月二日萩市江崎婦人会が老人クラブの協力を得て、八十人の参加者で開催しました。開会行事の後、災害に「備える」と題して講演をいただきました。その後デリバリーステーションの使い方の実演。短時間で炊き上がったご飯に歯舞昆布を添えてチラシ寿司の出来上がり。実演とパンフ学習と、災害を経験し、更に防災意識が高まった学習会でした。

災害に備えて

宇部市婦人会協議会 藤井恵子

十一月十二日、LPガスを使用した災害時の炊出し訓練と、元救急救命士の「災害時に於ける市民が行う一次救命措置について」の学習会を開催しました。



今年度はコロナ感染が落ち着いた時期を見計らった開催で、座学だけでなく実習もあり、久しぶりの活気のある学習会でした。参加者はデリバリーステーションの性能に目を見張っていました。

複十字シール運動



シールと缶バッジを贈呈する藤家会長



和木会場でのパネル展示

令和三年度の複十字シール運動を開始にするにあたり、七月二十九日、村岡山口県知事様を表敬訪問し、運動への理解と協力をお願いしました。

今年度のシール運動キャンペーンは、十一月十四日宇部市琴芝ふれあいまつりと山陽小野田市生涯学習フェスタの二会場と、十一月二十五日和木町文化会館で開催された地域婦人会リーダー相互研修会会場で行われました。

各会場とも、パネルを展示し、同時に募金をおこないました。

三会場での募金総額は六万四千九百十六円でした。皆様ご協力ありがとうございました。



啓発マスク

フィルムレポート

交通安全は家庭から

山口県交通安全母の会



交通安全マスコット 山陽小野田市



高齢者世帯訪問 大島郡



高齢者世帯訪問 長門市



交通安全教室 柳井市



交通安全世帯訪問用
啓発トイレトペーパー



配布グッズ 山口市小郡



交通安全教室 周南市



交通安全啓発 萩市佐々並婦人会

加入電話・
INSネットの
「固定電話」を
ご利用の
お客さまへ

固定電話のIP網への移行に便乗した 勧誘にご注意ください!!



事実を誤認させるセールス・電話勧誘が発生しております。
勧誘された際は、事業者名やサービス名、連絡先等をご確認ください。

右記のような勧誘は
**事実では
ありません。**

「アナログ電話が使えなく
なるので、デジタル電話への
切替工事が必要になります。」

- NTT東日本とNTT西日本は2024年以降、固定電話のIP網への移行に伴い電話会社内の設備切替を予定しています。
- この設備切替に便乗し、固定電話や固定電話の番号が使えなくなる、といった勧誘文句で営業をする業者に注意しましょう。

**設備切替後も、お手続き不要で「固定電話(通話)」は、
ご利用いただけますのでご安心ください。**

「何か変だな?」と思ったら、すぐにお電話を。

★固定電話のIP網への移行に関するご不明点はこちらへご連絡ください。

NTT西日本 問い合わせセンタ 0120-190-022 [受付時間]午前9時～午後5時(年末年始 12/29～1/3を除く)

※携帯電話・PHS からもご利用いただけます。※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

審査 21-1014-1 [230319]

祝 令和3年度表彰

おめでとうございます

山口県教育委員会表彰
理事 古田尊子様



萩市小川婦人会

もったいない運動



岡部副会長の活動発表

山口県消費者大会



萩市川上婦人会

昆布料理講習会



萩市川上婦人会



山陽小野田市連合女性会

北方領土出前講座

2022年度 主要事業

- 4月22日(金) 令和4年度理事総会(カリエンテ山口)
- 4月26日(火) 全地婦連創立70周年記念大会 東京都
- 5月14日(土) エンパワメントフェスタ2022(カリエンテ山口)
- 10月5日(水) 全地婦連中国ブロック会議(鳥取市)
- 11月16日(水) 地域婦人会リーダー相互研修会(山口県総合保健会館)
- 8月~12月 複十字シール運動
- 9月~12月 高齢者交通安全世帯訪問

編集委員 岡部、藤井、嬉、伊藤

今号は、コロナ感染と向き合って二年目の活動の特集しました。私たちは手探りで、できることを探しました。その活動には皆さんの知恵と意気込みが感じられました。まだまだ先が見通せない状況ではありますが、きつと近い将来こんな年があったことを話せる日が来ると信じて、しっかりとできることから活動をしていきたいと思います。書ききれない皆さんの思い、ありがとうございます。

二〇二一年夏、コロナ禍初のオンラインピック開催は、無観客開催となり残念でした。しかし、一方では爆発的な感染拡大もなく、このような状況での大会開催は成功であったのではないのでしょうか。開催が正しかったのかどうかは議論はありますが、これは私たちの事業についても同じではないでしょうか。

編集後記

安全で良い品を、より安く、しかも環境にやさしい化粧品
ちふれ一人一個購入運動



日やけ止めミルクUV

炎天下の強烈な紫外線対策に
ミルクタイプ

30ml 税込み 880円